

【愛媛】「荷主に営業するよりも、同業者との取引を優先したい」と語るのは、丸共運送(愛媛県八幡浜市)の上甲悦雄社長。地元運送



会社10社の経営者で構成する「車友会」の会長を務めている。10年前に発足した任意組織で、初代会長だった

丸共運送

上甲 悦雄さん

低価格競争より同業者と連携

た合田運送(大洲市)の宮 ほかが賢明だ」と指摘。この河村社長から3年前にパトロンを受けた。 ほうが賢明だが、会の運営の根底にある。

「荷物獲得のための価格破壊が横行している。奪われなくても、他社の安価な親睦会を開催。タイヤや軽 3金曜日酒を交えながら 月会費として1万円を出 映像で把握できるため、具

見積もりの影響で荷主からの値下げ要求をのまざるを得なくなる。それを意図した横やりもあるほど。低価格営業で荷主にアプローチするよりも、同業者間で連携しながら事業を展開する

会貢献も行ってきた。このほか、毎年正月にはそろって宇佐神宮へ初詣に出掛けるほどの結束力の高さが自慢だ。 自社の取り組みでは、2

困った時は助け合い

車両は20両あるが、順番に付け替えていく計画」という。

「われわれの基本である安全運転に徹し、地域の同



業者と困った時は助け合いながら、厳しい経済情勢をともに乗り越えたい」

(矢野 孝明)